

# 答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成24年12月  
常呂まちづくり協議会



平成24年12月17日

北見市長 櫻田真人様

常呂まちづくり協議会  
会長 山内光明

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成24年8月28日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## ～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成24年8月28日の第6回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー安心な活力都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

当協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた6つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、7事業を最優先事業として掲げました。

市長におかれましては、第5次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますよう要望いたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的にまちづくりを実現していくため、行財政改革に積極的に取り組んでいただくとともに、本協議会で出された意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくよう希望いたします。

# 常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第5次実施計画」に盛り込むべき事業～

## 基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎防災行政無線整備事業

常呂自治区は、市内で唯一海に面し、常呂川の最下流域でもあることから、津波・洪水による被害の危険性が極めて高い地域であります。特に津波が発生した場合、常呂の海岸地域は極めて甚大な被害が想定されます。

このような津波による被災を最小限にとどめるためには、市民に対して正確かつスピーディーな情報の伝達が重要となることから、平成24年度において同報系防災行政無線の更新整備が実施されました。

しかしながら、災害時の通信システムの要となる移動系無線の老朽化も著しく、本年10月に実施された避難訓練では通信トラブルが発生するなど通信システムの適切な運用に支障を来す状況にあることから、有事に備え、移動系無線の早期更新整備を求めます。

なお、旧同報系無線については、老朽化した設備機器が多いことから、早期に撤去する必要があります。



避難訓練を行う常呂小学校の児童（H24.10.26）

## 基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

### 《特別要望事業》

#### ☆史跡常呂遺跡公園整備事業

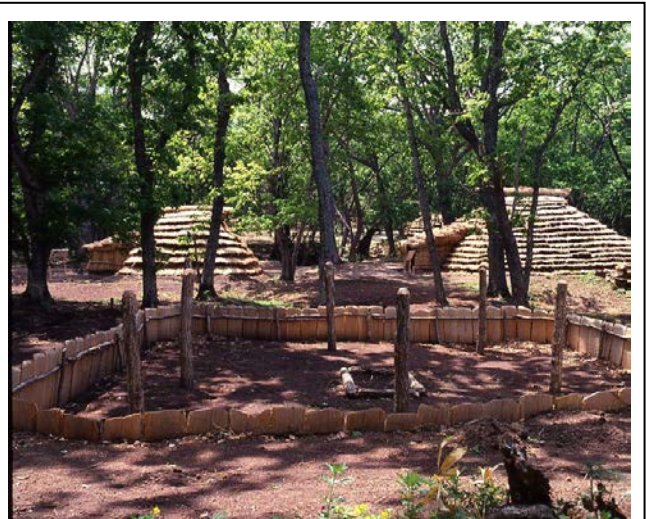
史跡常呂遺跡公園整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すもので、文化財の保護、啓発を進めるうえで大変重要な事業です。

当該事業エリアは主要幹線道路である国道238号線と隣接する地域にあることから、高い集客力と地域経済の活性化につながる魅力ある施設になるよう史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働き掛けていくことが必要です。

#### ☆常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業

常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く世界に発信し、多くの人々に理解を深めていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業であります。

世界文化遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその評価を左右する大きな要因となっていることから、市民に対し、北見市の重要施策として積極的にPRするとともに、関係市町村と連携し、オホーツク圏域全体で盛り上げていく取り組みが必要です。



世界遺産登録を目指す「常呂遺跡」

## 《最優先事業》

### ◎給食センター整備事業

常呂学校給食センターは、設置後32年を経過しており、機械設備や調理機器類の老朽化が著しい状況にあります。

特に、調理場の床面や給湯・給排水設備の劣化が著しく、施設の衛生管理に苦慮していることから、より高度な衛生管理と安心・安全な学校給食の安定供給に向けて、施設のドライシステム化と設備機器の早期整備が必要です。

## 《優先事業》

- 常呂町多目的研修センター施設整備事業
- 常呂小学校体育館整備事業
- 常呂小学校屋上フェンス設置事業
- 常呂小学校太陽光発電設置事業
- スクールバス更新事業
- 常呂町スポーツセンター整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- 常呂町カーリングホール整備事業

常呂町多目的研修センターは、文化祭や成人式、オホーツク大学などの社会教育活動のほか、各種イベントなどで広く利用される施設であります。築後29年を経過し、老朽化により大ホールの照明設備や視聴覚室の映像設備に支障を来していることから、安全性の確保と施設の円滑な運営のために早期の修繕対応が必要と考えます。

また、駐車場用地は長期にわたる借地となっており、借地料も高額になっていることから、取得に向けて早急に整理されることが望まれます。

常呂小学校の体育館は、整備から16年を経過した施設であります。経年劣化による外壁の損傷により体育館内部への雨漏りが発生しており、適切な教育環境の維持・確保のために早期の改修整備が必要と考えます。



また、屋上フェンス設置事業については、市街地区に津波災害発生時の避難場所となる高い場所が少ないことから、常呂小学校の屋上を一時避難場所としての利用することを想定し整備するもので、安全な避難場所確保のための事業であり、早期整備が求められます。

太陽光発電設置事業は、省エネルギー、クリーンエネルギーといった北見市が進める環境政策の代表的な取り組みであり、児童生徒をはじめ、市民のエネルギーや環境に対する理解を深めるためにも積極的な推進が必要と考えます。

常呂自治区のスクールバスは、昭和49年の中学校統合とともに運行しており、遠距離通学の足として2台のバスにより行っていますが、そのうちの大型バス1台が導入からすでに22年を経過しており、塩害による劣化など老朽化が著しい状況にあることから、安全性と効率性を考慮し、マイクロバスへの計画的な更新が必要と考えます。

常呂町スポーツセンターは、自治区内のスポーツ拠点施設であり、市民の健康維持・増進を図るための施設として不可欠な施設ではありますが、開館後36年を経過した施設であることから、耐震診断等施設の現況について調査する必要があると考えます。

また、各種運動機器の老朽化が著しく、障害者に対応したトイレも整備されていないことから、公共施設として適切な対応が求められます。

常呂町健康温水プールは、学校利用や少年団活動をはじめ、健康維持増進施設として市民に利用されている施設ではありますが、海岸隣接地に建設されていることから、強風や飛砂など自然環境が厳しく、施設全体の傷みが激しいことから計画的な維持補修が必要であると考えます。

常呂自治区の最優先事業として掲げてきた常呂町カーリングホール整備事業は、関係各位のご理解により、本年度、国際規格に適合した通年型のカーリング拠点施設として新たに建設着工となりました。

今後については、来年9月の供用開始に向けて、順調に事業の推進がされるとともに、新カーリングホールの利活用の促進と地域の振興発展につながる効果の高い事業展開について検討していく必要があると考えます。

### 基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

#### 《優先事業》

##### ○福祉バス更新事業

社会福祉事業に係る公用バスとして広く利用されている福祉バスは、導入から21年が経過しており、塩害による腐食など老朽化が進んでいる状況にあります。

各自治区の公用バスの状況を踏まえ、安心・安全な福祉バスの運行のために、計画的に更新することが必要と考えます。

### 基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

#### 《最優先事業》

##### ◎ワッカ原生花園周辺施設整備事業

ワッカ原生花園は北海道遺産にも選定され、多くの観光客が訪れる道東観光における有数の景勝地ですが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた自然環境の厳しい地域であることから、当該ワッカ地区にある各種施設の老朽化が著しく、観光施設として適切な対応を図るとともに、集客に向けたさらなる取り組みが必要です。

ワッカ原生花園のビジター施設として設置されているサロマ湖ワッカネイチャーセンターでは、中央部にある支柱内部が経年劣化により一部空洞化しており、適切な措置が必要な状況となっています。また、付随する駐車場は各所で歪が発生しており、観光馬車小屋も外壁などの劣化が進んでいます。

ワッカの森の公衆トイレに水を供給する給水施設についても劣化が著しく、自然保護管理道路も一部で侵食による損壊が見られるなど各所で経年劣化が進行していることから、観光施設として計画的に対策を講じていく必要があります。

一方で、サロマ湖ワッカネイチャーセンターの裏手に群生するアッケシ草は、観光資源として魅力ある貴重な素材でありますので、植生の保護とともに観光客の散策路として利便性の向上を図るため、木道を整備すべきと考えます。



支柱の改修が急がれるサロマ湖ワッカネイチャーセンター

## ◎サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業

ワッカ原生花園を訪れる観光客の多くは、ワッカの自然を満喫するためスローな散策を好みます。園内を徒歩またはサロマ湖ワッカネイチャーセンターの貸自転車で散策される利用者が多く、貸自転車の稼働が高いため劣化の進行が著しい状況にあります。また、近年は電動アシスト自転車のニーズも高く、利用者の安全性及び快適性を図るために、計画的な更新整備が必要と考えます。

ワッカ原生花園内を管理する車両は、購入から既に23年を経過しており、腐食等による劣化が激しいため、安全な管理業務に支障を来している状況にあることから、早期の更新が必要です。

なお、更新にあたっては、軽トラックを導入することで、今後の維持費の縮減が図られると考えます。

## ◎常呂森林公園整備事業

常呂森林公園は、市民の憩いの場として昭和55年度より各種施設が整備されておりますが、経年劣化が著しく、公共施設として適切な対応が求められています。

平成7年度に整備されたパークゴルフ場は大変利用者の多い施設であります。センターハウスの外壁及び倉庫引戸の劣化が著しく、また、トイレがすべて和式であることから、洋式化を求める要望も強く、利用者のニーズに対応した安全な公共施設として適切な改修整備が必要と考えます。

また、利用者から公衆トイレの新設について要望があることから、環境に配慮したバイオトイレを試験的に設置し、利用状況の把握及び必要性について検討すべきと考えます。

また、昭和57年のオープン当初より設置されているアスレチック遊具、林間歩道連絡橋、東屋については、経年劣化により危険な状況にあることから、早期の解体撤去が必要と考えます。



## 《優先事業》

- 自給肥料供給センター運営管理事業（施設維持整備）
- 基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区
- 食料供給基盤強化特別対策事業（RPU 事業）
- かんがい排水事業（明きょ排水） 常呂地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂岐阜地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂豊川地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂福山地区
- 一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号
- 常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業
- 常呂地区排水機場施設設備整備事業
- 常呂地区幹線排水路維持管理事業
- 農地・水保全管理支払交付金事業
- 水産基盤整備事業
- 定置作業保管施設整備事業
- 汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）
- サロマ湖漁港防水堤維持管理事業
- ホタテ貝殻利用漁場造成事業

自給肥料供給センター運営管理事業は、当該施設の適切な管理運営のため機械・機器類を整備する事業で、常呂自治区内のし尿を処理し、有機肥料として再生する重要な施設であることから、計画的な事業の実施が必要と考えます。

なお、当該施設は設置後18年を経過し、老朽化が懸念されることから、今後の常呂自治区のし尿処理のあり方について検討を進める必要があると考えます。

基幹水利ストックマネジメント事業、かんがい排水事業、畑地帯総合整備事業、常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業、常呂地区幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

食料供給基盤強化特別対策事業は、総合的な農業生産基盤（区画整理・暗渠排水・客土・土層改良）の整備を実施することで、排水不良等を解消し、農作業の効率化や畑作物の生産性の向上、品質の安定化など農業経営の安定化を図るうえで極めて重要な事業であり、計画的な事業の実施が必要と考えます。

一般農道整備事業（農道保全）は、富丘地区、豊川地区の主要道路である市道15号の改修整備で、大型車両等の通行が多い道路であることから路肩の変形や舗装の損傷が著しい状況にあります。

当該事業は、すでに事業計画が承認されており、道路の安全性向上に向けた早期対応が求められています。

常呂地区排水機場施設設備整備事業は、常呂自治区内にある4つの排水機場の設備機器の更新整備を実施する事業で、当該施設の機能低下は湛水被害につながるため、計画的な実施が必要と考えます。

農地・水保全管理支払交付金事業は、地域の活動組織が取り組む農地や水路等の維持管理や環境保全に対し支援するものであり、継続的な支援・推進が必要と考えます。

水産基盤整備事業は、主要漁港である常呂漁港を衛生管理型漁港として整備するものであり、北見市の水産業の振興発展を図るためにも極めて重要な事業であり、積極的な事業推進が必要と考えます。

定置作業保管施設整備事業は、本市の主要漁業であるサケ定置漁業の漁業資材保管施設であり、高価な漁業資材を適切に管理するための施設であることから、整備に向けた支援が必要と考えます。

汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）は、養殖漁業に使用する養殖資材の洗浄とその洗浄により排出される汚水を適切に処理するための施設で、地域の環境衛生と隣接するサロマ湖の水質環境の保全を図るうえで重要な事業であり、整備に向けた支援が必要と考えます。

サロマ湖漁港防氷堤維持管理事業は、サロマ湖への流氷の流入を防ぐアイスブーム施設の維持管理を支援する事業で、サロマ湖内の漁業施設を守るための重要な施設であり、継続的な支援が必要と考えます。

ホタテ貝殻利用漁場造成事業は、ホタテ漁場の環境改善を目的に実施される事業であり、基幹漁業であるホタテの生産性向上のため継続的な実施が必要と考えます。

## 基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎市営住宅建替事業（常呂）

常呂自治区内には、73棟348戸の市営住宅が建設されていますが、そのうちの64棟262戸が築後25年を経過した老朽化した住宅となっていることから、今後の需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切に整備・改修することが求められます。

特に、今回解体が計画されている西町第2団地は、長く政策空き家として管理されていますが、防犯上や景観上において懸念される建物となっていることから、早期に実施する必要があります。

なお、今後新たに整備される市営住宅については、バリアフリー化など高齢化社会に対応した快適な住宅として整備されることが望まれます。



防犯上や景観上の懸念となっている西町第2団地

#### ◎朝日橋撤去事業（常呂）

朝日橋は、豊浜・弁天方面と市街地を結ぶ主要ルートとして昭和39年に架設された橋梁ですが、現在は老朽化により使用できない施設となっていることから、地権者である国から撤去を求められており、河川増水時の二次的災害の懸念や景観等周辺環境の改善を図るためにも、早期に対応する必要があります。

## 《優先事業》

- 常呂町川東線道路整備事業（常呂）
- 常呂町北進町1号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町北進町2号線道路整備事業（常呂）
- オーバーレイ事業
- 普通財産建物解体事業（常呂自治区）
- 旧常呂監督員詰所解体事業
- 市営住宅改修改善事業（常呂）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）
- 常呂終末処理場整備事業
- 社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）

各道路整備事業やオーバーレイ事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、計画的な整備・推進が必要と考えます。

特に、川東線道路など児童生徒の通学路線については、歩道や街路灯の整備など安全・安心な道路としての整備が必要と考えます。

普通財産建物解体事業は、市が普通財産として所有する老朽化住宅の解体撤去事業であり、地域の安全性や周辺の衛生環境を考慮し、早期に対応されることが望まれます。

旧常呂監督員詰所解体事業は、土地改良事業の事務所として使用してきた施設の老朽化に伴う解体撤去事業であり、景観及び防犯の関係からも早期の解体撤去が求められています。

市営住宅改修改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性向上を図るための事業であり、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき整備されるものですが、改築にあたっては、災害に強い街づくりの観点から市営住宅のあり方について、検討する必要があると考えます。

また、市営住宅の利用にあたっては、法律を遵守しながらも各自治区における利用状況や地域のニーズを考慮した有効的活用について検討されることが望まれます。



特定環境公共下水道事業、常呂終末処理場整備事業は、市民の生活環境の改善や常呂川などの水質の向上、浸水被害の防止対策などを目的とする極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

社会資本整備総合交付金事業（建設機械更新事業）については、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するためには不可欠な車両であることから、計画的な整備更新が必要と考えます。

## 基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

### 《優先事業》

- 常呂まちづくりパワー支援事業
- 岐阜集落センター改修事業（常呂自治区）

まちづくりパワー支援事業は、自治区住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、地域住民の市民協働、まちづくりへの参加を進めていくうえで、大変効果の高い事業であり、引き続き積極的に推進されることが望まれます。

岐阜集落センターは、町内会活動や老人クラブの活動拠点として利用されている岐阜地区の地域会館ですが、築後30年を経過していることから屋根や外壁の老朽化が著しく、施設機能の維持・向上を図るために適切な整備が必要と考えます。



## 常呂自治区懸案事業一覧

### 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

#### 《防災の強化》

1	防災行政無線整備事業	既存施設解体撤去（同報系）、調査研究・実施設計・工事施工（移動系）
---	------------	-----------------------------------

#### 《緑豊かな自然環境の整備》

2	ワッカ原生花園植生調査事業	植生環境調査、自然環境調査、報告書作成
---	---------------	---------------------

### 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

#### 《健康教育の推進》

3	給食センター整備事業	給食センター改修工事
---	------------	------------

#### 《生涯学習の充実》

4	常呂町多目的研修センター施設整備事業	大ホール照明設備・視聴覚室映像設備の改修 駐車場用地の購入
---	--------------------	----------------------------------

#### 《小・中学校教育の充実》

5	常呂小学校体育館整備事業	外壁改修
6	常呂小学校屋上フェンス設置事業	屋上フェンス設置
7	常呂小学校太陽光発電設置事業	太陽光発電システム導入
8	川沿小学校校舎解体事業	旧校舎解体
9	スクールバス更新事業	スクールバス（マイクロ型）の購入（1台）

《生涯スポーツ活動の振興》

10	常呂町スポーツセンター整備事業	トイレ改修、耐震診断・現況調査事業、トレーニングルーム機器更新
11	常呂町健康温水プール整備事業	自動ドア修繕、機械設備修繕
12	新カーリングホールオープン記念 セレモニー事業	オープニングセレモニーの開催
13	常呂町カーリングホール整備事業	カーリングホール建設工事、外構工事、備品購入等

《文化財の保護・継承》

14	史跡常呂遺跡公園整備事業	史跡整備専門委員会議、史跡土地購入、整備事業着手
15	常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業	発掘調査、有識者検討会議、のぼり旗作成、特別展開催、資料集刊行

3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

《地域福祉活動の促進》

16	福祉バス更新事業	福祉バス購入（1台）
----	----------	------------

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

《地域特性を活かした農業の振興》

17	自給肥料供給センター運営管理事業（施設維持整備）	機械・器具・設備の整備
18	基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区	明渠排水路補修整備、附帯工
19	食料供給基盤強化特別対策事業（RPU事業）	区画整理、暗渠排水、客土、土層改良
20	かんがい排水事業（明きょ排水）常呂地区	排水路整備

21	畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂岐阜地区	排水路整備
22	畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂豊川地区	横断管改修
23	畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂福山地区	調査計画、横断管改修
24	一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号	調査設計、機能診断、実施設計、改良工事
25	常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業	明渠排水路取付道路横断管応急整備
26	常呂地区排水機場施設設備整備事業	排水機場設備機器等の修繕
27	常呂地区幹線排水路維持管理事業	幹線排水路土砂上げ
28	農地・水保全管理支払交付金事業	営農環境保全活動団体助成

#### 《国際競争に強い水産業の推進》

29	水産基盤整備事業	外郭施設・係留施設・輸送施設・浄化施設、施設用地の整備に係る地元負担金
30	定置作業保管施設整備事業	定置作業保管施設整 1 棟
31	汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）	養殖資材洗浄施設・汚水処理施設整備
32	サロマ湖漁港防氷堤維持管理事業	アイスブーム設置撤去等維持管理費助成
33	ホタテ貝殻利用漁場造成事業	漁場改善事業補助金

#### 《活気ある商業活動の促進》

34	手工芸の館整備事業	燃料タンク更新、屋根・外壁・スロープ改修
----	-----------	----------------------

《新たな観光資源の活用》

35	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	木道整備、給水設備修繕、道路維持補修、ネイチャーセンター支柱改修、観光馬車小屋改修、駐車場改修
36	サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業	公園管理車両更新、観光看板更新、自転車・電動自転車更新
37	常呂森林公園整備事業	パークゴルフセンターハウス改修、仮設トイレ設置、アスレチック・林間歩道連絡橋・東屋撤去
38	常呂常南ビーチ海水浴場周辺施設整備事業	トイレ改修

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

《道路網の整備》

39	常呂町川東線道路整備事業	道路改良・舗装工事
40	常呂町北進町1号線道路整備事業	道路改良・舗装工事
41	常呂町北進町2号線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事
42	オーバーレイ事業	舗装道補修
43	朝日橋撤去事業（常呂）	実施設計、橋梁撤去工事

《良好な住宅・住環境の創出》

44	普通財産建物解体事業 （常呂自治区）	普通財産建物（住宅）解体撤去
45	旧常呂監督員詰所解体事業	監督員詰所解体 1棟
46	市営住宅改修改善事業（常呂）	市営住宅改修改善工事
47	市営住宅建替事業（常呂）	市営住宅解体工事、実施設計、造成工事、市営住宅建設

《水道水の安定供給と下水道の整備》

48	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（汚水管渠）	公共汚水柵設置
49	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）	下水道雨水管整備
50	常呂終末処理場整備事業	水処理施設設備更新、耐震実施設計、水処理施設実施設計、原水槽ポンプ設備更新、耐震補強、管理棟・水処理棟外装改修工事

《除排雪体制の強化》

51	社会資本整備総合交付金 （建設機械更新事業：常呂）	除雪グレーダー更新（1台）
----	------------------------------	---------------

## 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

《国際交流・地域間交流の促進》

52	姉妹友好都市交流推進事業	佐川町姉妹都市提携25周年記念事業、常呂高校振興協議会補助金
----	--------------	--------------------------------

《住民自治の推進》

53	常呂まちづくりパワー支援事業	自治区独自のまちづくり活動への支援（補助金）
54	岐阜集落センター改修事業 （常呂自治区）	岐阜集落センター改修（屋根塗装、外壁・トイレ改修、浄化槽設置）

## 【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	8月28日(火) 午後6時30分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月22日(月) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月24日(水) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	10月30日(火) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
5	12月 6日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H24.6.14～H26.6.13】

	氏 名
委 員	嵐 ふみ江
委 員	安 藤 憲 彦
委 員	石 山 茂 実
委 員	稲 田 昌 代
委 員	江 田 哲
委 員	佐 藤 文 彦
委 員	澤 向 佳 恵
○副 会 長	田 淵 正 彰
委 員	敦 賀 信 人
委 員	寺 町 敬 子
委 員	広 瀬 由 里 子
委 員	三 角 和 之
◎会 長	山 内 光 明
委 員	横 山 義 雄
委 員	吉 田 恭

50音順